

平成 27 年 10 月 19 日

関係各位

(公財) 日本バドミントン協会  
専務理事 銭谷 欽治  
(公印省略)

ヨネックス大阪インターナショナルチャレンジ 2016 開催中止について

平素から (公財) 日本バドミントン協会の運営に対しましてご理解ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

今年度 6 月より新体制スタートにあたりガバナンス・コンプライアンス強化を課題に掲げ選手強化は勿論の事、2016 リオ/2020 東京オリンピック・パラリンピックをターゲットに関係省庁等との折衝他に全力で取り組んでいるところです。

各都道府県協会及び各連盟代表の皆様には日本協会として謝罪と説明責任を果たさなくてはならない事案が起きてしまった事をこの場をお借りして申し上げます。来年度開催予定のヨネックス大阪インターナショナルチャレンジ 2016 が開催できなくなった事をご報告致します。

既に平成 28 年度、競技会日程も決まっている中、非常に残念かつ重大な事務的ミスで昨年 10 月に BWF レギュレーションに関する通知を見落としとしておりオリンピック前年度の選考イヤーについては今年 4 月末までに国際大会申請が必要だった事が判明致しました。

通常年通りの対応で 8 月に申請したところ (約 4 か月遅れ) 直ぐの回答を頂き申請遅れを理由に BAC (アジア連盟) から NO と回答を頂き重要なミスが判明した次第です。

その後直ちに BAC 会長及び BWF 会長にも 9 年連続開催の実績も含め直訴し何とか認められるよう八方手を尽くしましたが最終的に NO との回答を頂きました。

主管協会の大阪府協会におかれましては既に会場・ホテル・協賛会社様・J スポーツ等も予約済みで実行委員会も 4 回開催した中、急な中止決定を余儀なくされ日本協会として前体制下での重大なミスとは言え法人組織としてあってはならない重大な過ちにつながってしまった事に対してすでに謝罪と経緯説明をさせて頂きました。

今後、原因究明と検証を重ね責任所在を明確にする事と合わせ再発防止に全力で取り組む所存です。公益財団法人組織として更なるガバナンス強化を図る事をお約束し謝罪申し上げます。上記大会につきましては再来年度の 2017 年 4 月に第 10 回大会を開催する予定です。

以 上